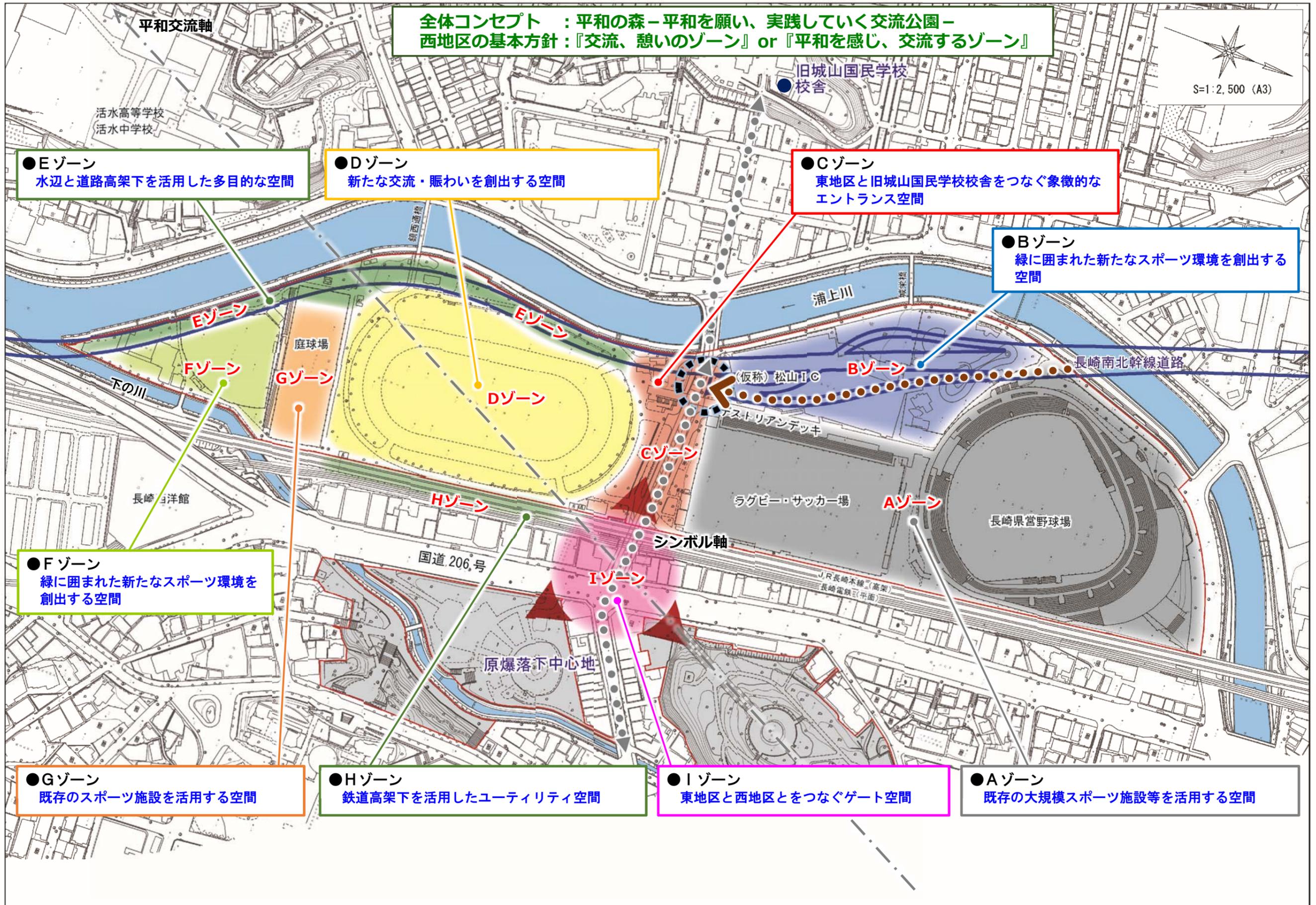
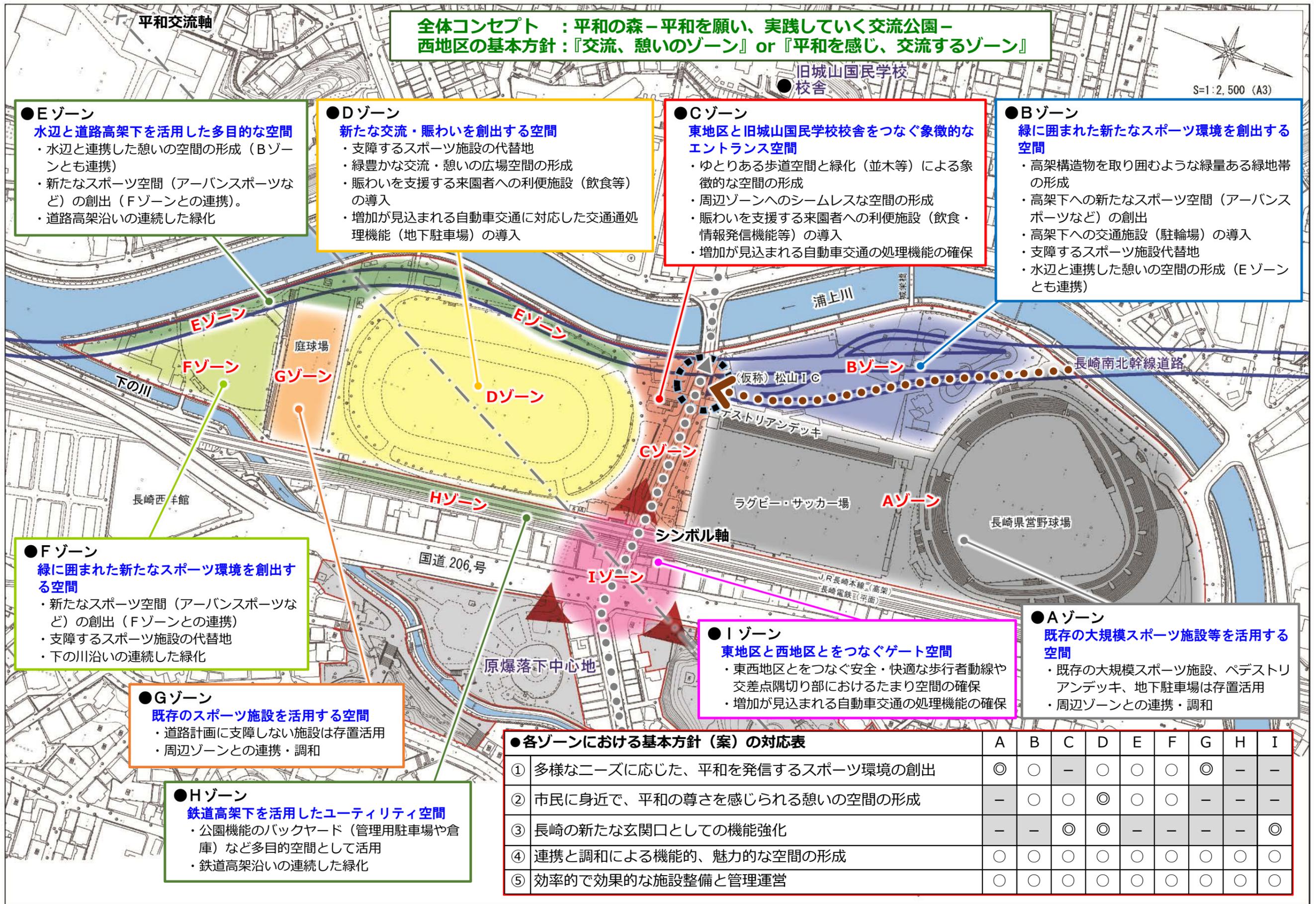


ゾーニング(案)とゾーン別の整備方針(案)

# 1 平和公園(西地区)のゾーニング(案)とゾーン別整備方針(案)

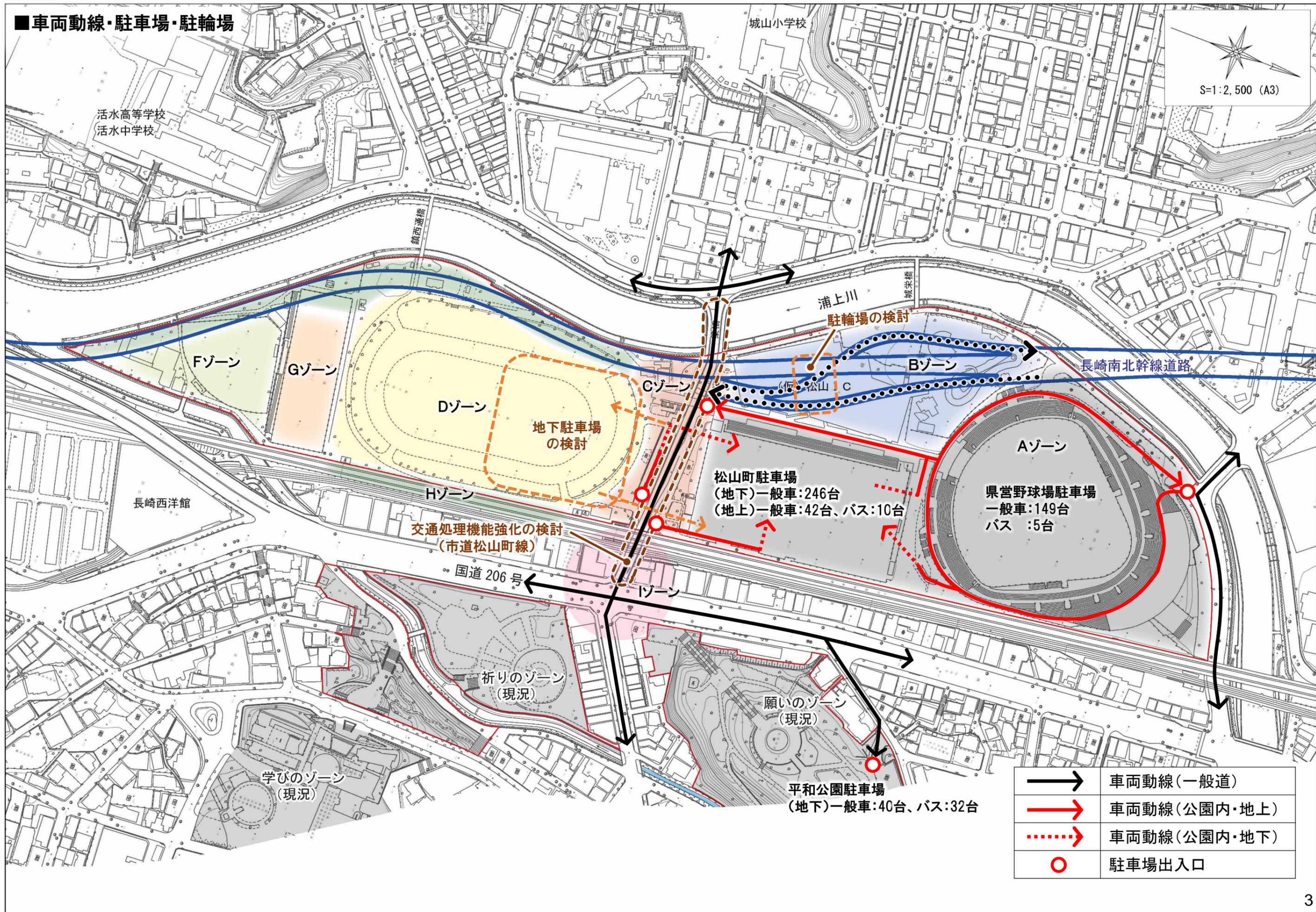


# 1 平和公園(西地区)のゾーニング(案)とゾーン別整備方針(案)



# 2 動線の考え方(案)

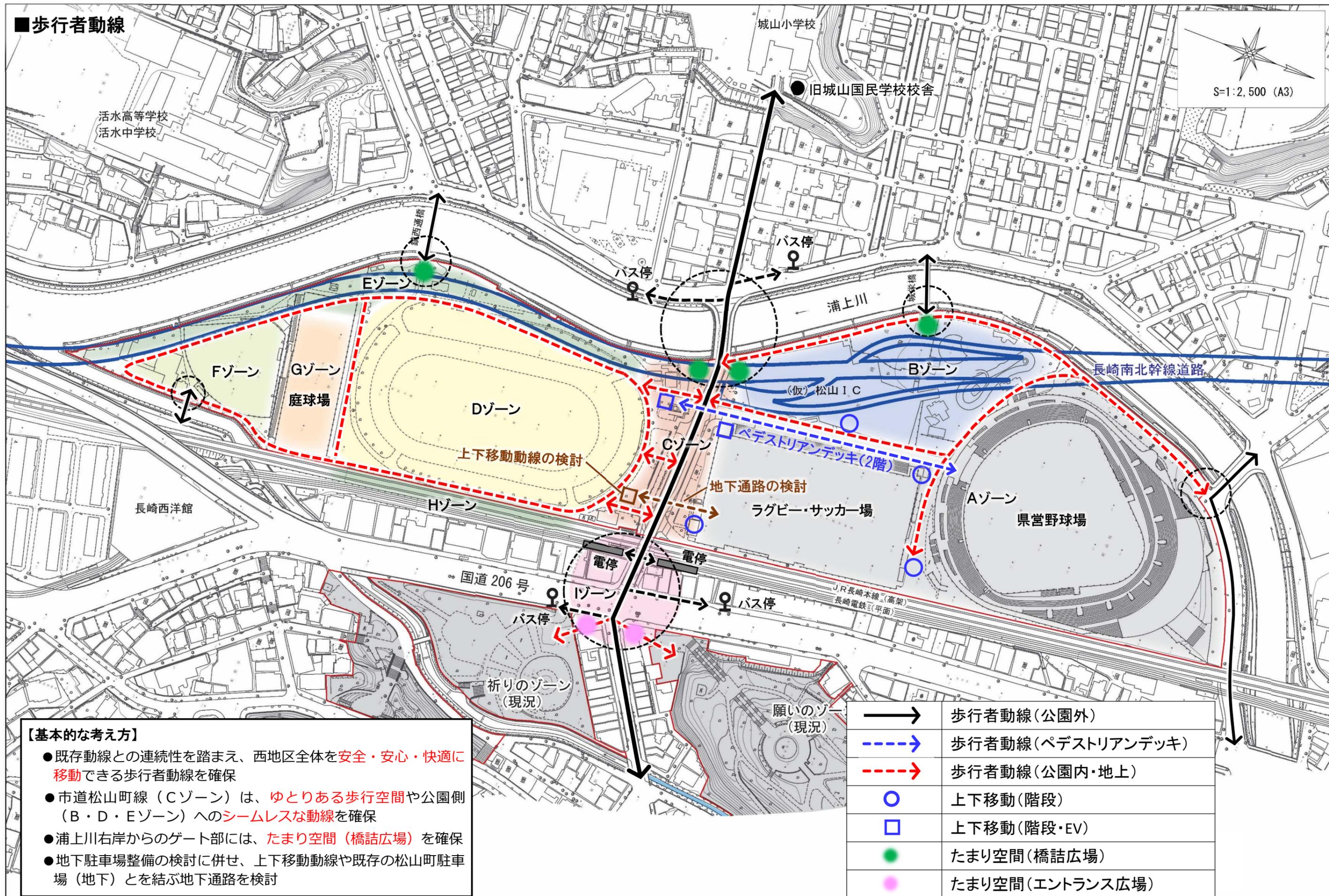
## ■車両動線・駐車場・駐輪場



S=1:2,500 (A3)

# 歩行者動線

S=1:2,500 (A3)

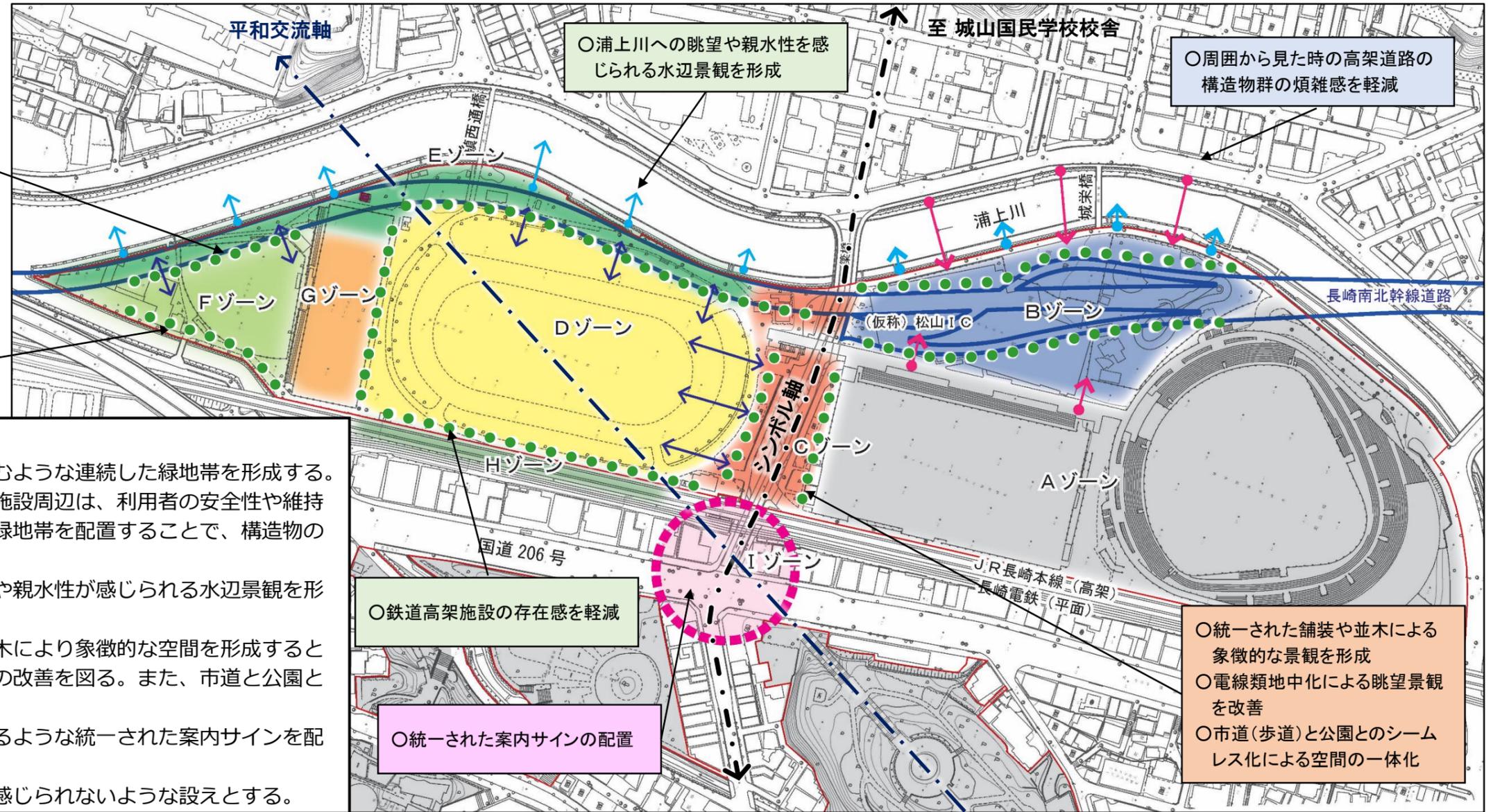


## 【基本的な考え方】

- 既存動線との連続性を踏まえ、西地区全体を安全・安心・快適に移動できる歩行者動線を確保
- 市道松山町線（Cゾーン）は、ゆとりある歩行空間や公園側（B・D・Eゾーン）へのシームレスな動線を確保
- 浦上川右岸からのゲート部には、たまり空間（橋詰広場）を確保
- 地下駐車場整備の検討に併せ、上下移動動線や既存の松山町駐車場（地下）とを結ぶ地下通路を検討

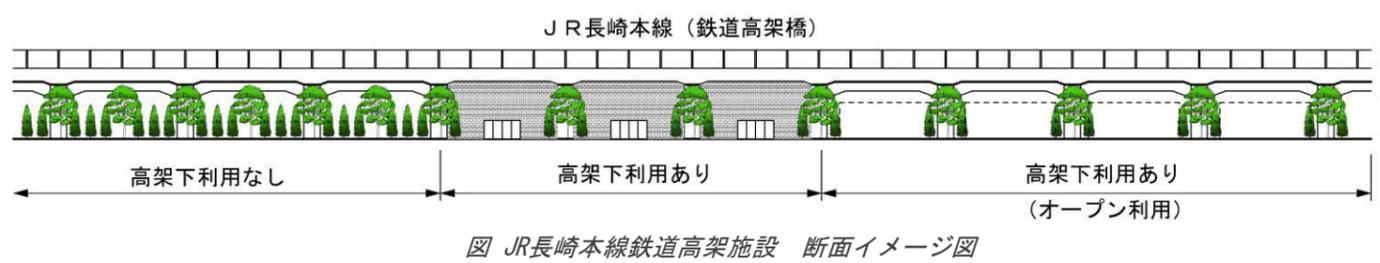
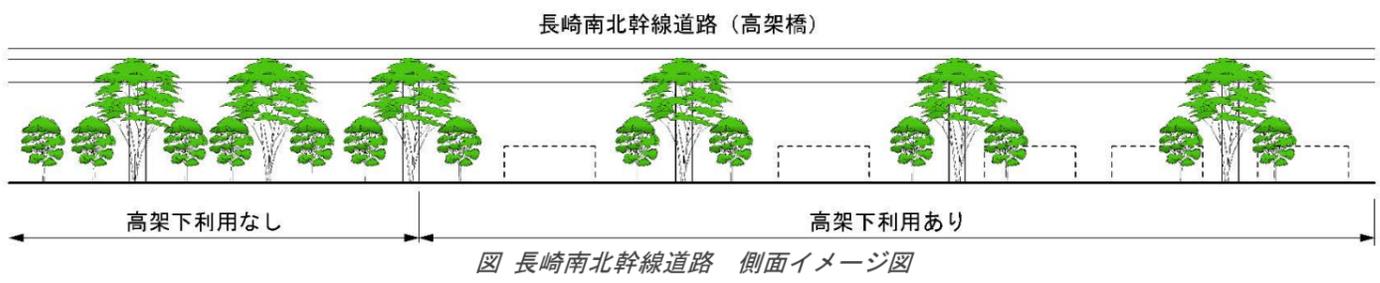
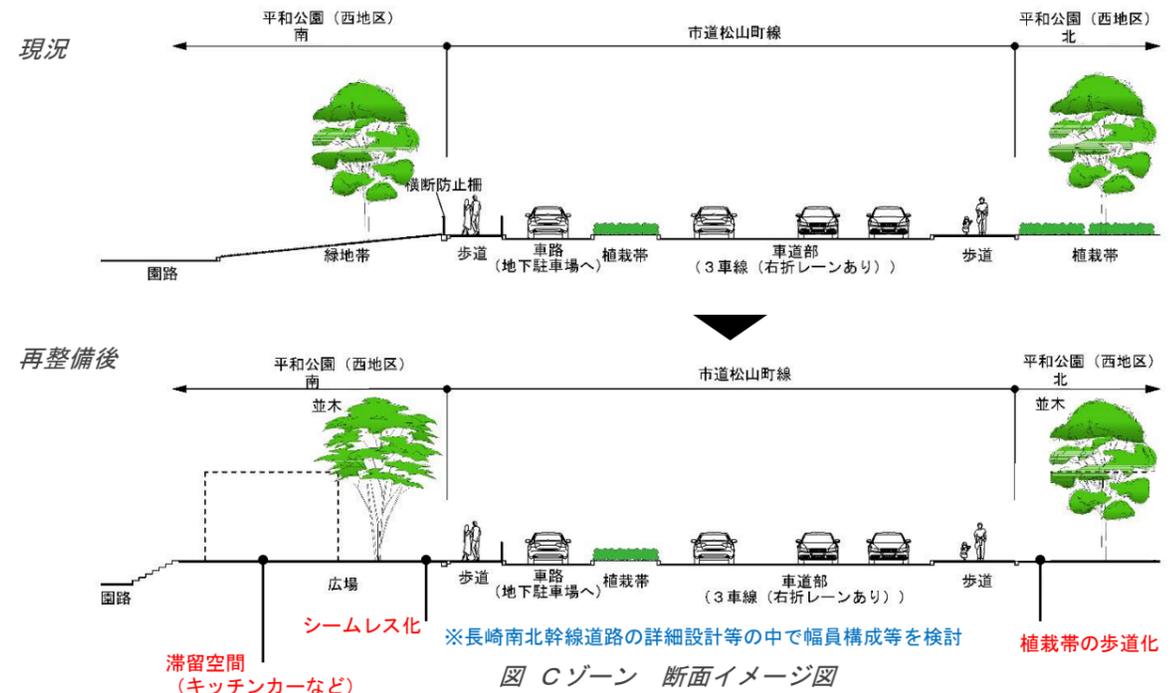
→	歩行者動線（公園外）
→	歩行者動線（ペDESTリアンデッキ）
→	歩行者動線（公園内・地上）
○	上下移動（階段）
□	上下移動（階段・EV）
●	たまり空間（橋詰広場）
●	たまり空間（エントランス広場）

### 3 景観形成・緑地の考え方(案)

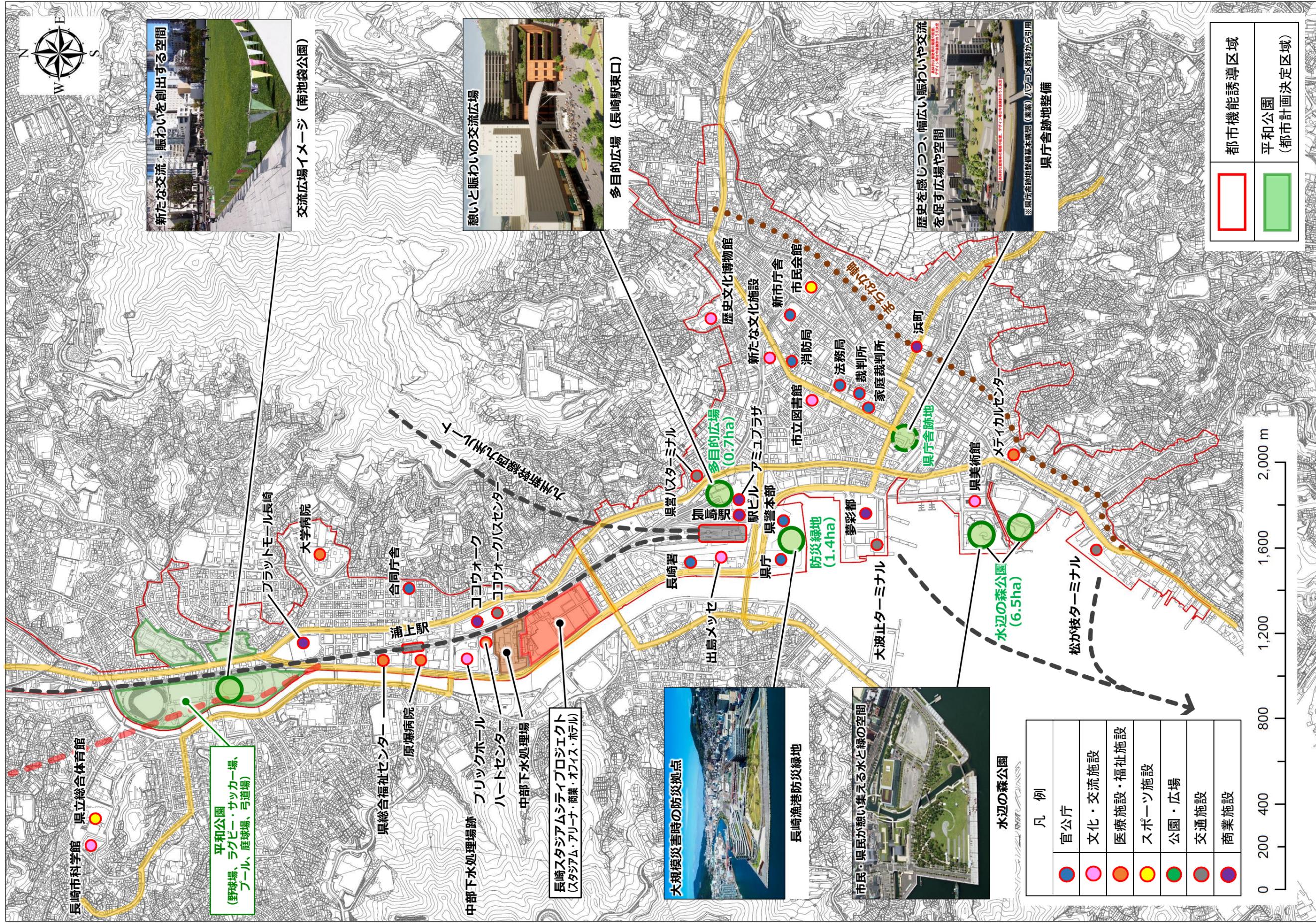


- 【基本的な考え方】**
- 「平和の森」を意識し、公園を包みこむような連続した緑地帯を形成する。特に、道路や鉄道高架、大型スポーツ施設周辺は、利用者の安全性や維持管理に配慮しつつ、緑量を感じられる緑地帯を配置することで、構造物の景観インパクトの軽減を図る。
  - 浦上川や下の川沿いは、水辺への眺望や親水性を感じられる水辺景観を形成する。
  - 市道松山町線は、統一された舗装や並木により象徴的な空間を形成するとともに、電線類地中化により眺望景観の改善を図る。また、市道と公園とのシームレスな空間を形成する。
  - 東地区と西地区との一体感が感じられるような統一された案内サインを配置する。
  - 高架道路は、公園に溶け込み違和感が感じられないような設えとする。

図 各ゾーンの景観形成・緑地の考え方(案)



# ＜参考資料＞ 広域的な利用圏の公園・広場の配置状況【都市機能誘導区域】



長崎市科学館 県立総合体育館

平和公園  
(野球場、ラグビー・サッカー場、プール、庭球場、弓道場)

新たな交流・賑わいを創出する空間  
交流広場イメージ (南池袋公園)

中部下水処理場跡  
ハートセンター  
中部下水処理場  
長崎スタジアムシティプロジェクト  
(スタジアム・アリーナ・商業・オフィス・ホテル)

憩いと賑わいの交流広場  
多目的広場 (長崎駅東口)

大規模災害時の防災拠点  
長崎漁港防災緑地

市民・県民が憩い集える水と緑の空間  
水辺の森公園

歴史を感じつつ、幅広い賑わいや交流を促す広場や空間  
県庁舎跡地整備

凡 例	
●	官公庁
●	文化・交流施設
●	医療施設・福祉施設
●	スポーツ施設
●	公園・広場
●	交通施設
●	商業施設

□	都市機能誘導区域
□	平和公園 (都市計画決定区域)

